



錦江中学校開校に向けて

～校歌決定！・開校記念事業 編～

↑校章の由来

「中」を囲む円形は半島に囲まれた錦江湾を表している。また、円形は団結、心の豊かさを表し、その中にローマ字で校名のK I N K Oを配し、国際社会への飛躍も期待している。支えの照葉樹の若葉は、伸び行く子ども達の姿と4校の統合体を表している。校訓である「自主」「友愛」「忍耐」の調和のとれた新たな中学実現のため「中」のたくましい字形を用いている。

神川孝志さん作（宮崎市・鳥浜自治会出身）

4月号でも中学校統合の協議状況をお知らせいたしました。新たに決定した校歌と、各学校で実施される開校記念事業の概要についてお知らせします

校歌

4月20日、第7回錦江町中学校統合推進協議会（教育委員、大根占地区の中学校長やPTA会長、PTA女性代表、地区公民館長の計34人で組織）が開催され、校歌が正式に決定いたしました。

校歌については、163人のアンケート結果を基に、作詞家の鹿児島県作文研究会会長片山一郎氏、作曲家の元第一佐多中

錦江中学校校歌

学校教諭・寺原美紀氏に制作を委託し、子どもたちの想い（たくましさ・希望・自然など）を歌詞に活かし、また生徒たちが口ずさみやすい新たな曲調の校歌となりました。

一

ゆたかに広き 錦江の
夢は大きく 海原に
友愛固く 進みゆく
真理の道に 光あり
われらは 錦江中学校

二

とどろき渡る 大滝の
熱き思いは わが胸に
輝くあすを 信じゆく
学びの庭に 力あり
われらは 錦江中学校

三

はるかに仰ぐ 薩摩富士
希望は高く 大空に
理想をめざし 励みゆく
自立の誓い 誇りあり
われらは 錦江中学校

歌詞の解説

一

豊かにどこまでも続く錦江湾である。果てしなく続く海を眺めていると、いつの間にか夢が膨らみ、海原と一体となっていく。友と肩を組んで進んでいけば、真理の道に光が差してくる。我々は、真理を求め続ける錦江中学校の生徒である。

二

はげしく落下する水と、そのとどろく音を見聞していると、熱き思いが自分の胸に沸きおこってくる。輝く明日を信じて真摯に生きていけば、不思議と学びの庭に力があふれ出る。我々は、そんな力強い錦江中学校の生徒である。

三

はるか遠くに仰ぐ薩摩富士。優美な姿を目にしていると希望は高く大空に昇っていくではないか。理想を目指して、来る日もくる日も励み続けていく。我々は、自立をお互いに誓い合い、誇りを胸に抱いた錦江中学校の生徒である。

開校記念事業

各学校では、開校に向けた記念事業を計画していますので、住民の皆さんのご協力をお願いします。詳しくは、各実行委員会事務局（各学校教頭）まで。

池田中学校	宿利原中学校	神川中学校	大根占中学校
● 式典 20年3月23日（日） ● 事業内容 - 記念誌の発行・記念碑除幕式・開校のお別れ会 ● 事務局 ☎ 0994-29-0003	● 式典 20年3月22日（土） ● 事業内容 - 記念誌の発行・記念碑除幕式・開校のお別れ会 ● 事務局 ☎ 0994-23-0002	● 閉校記念に集う会 19年8月12日（日） ● 式典 20年3月21日（金） - 記念誌の発行・記念碑除幕式・開校のお別れ会 ● 事務局 ☎ 0994-22-0203	● 式典 20年3月16日（日） ● 事業内容 - 記念誌の発行・記念碑除幕式・開校のお別れ会 ● 事務局 ☎ 0994-22-0009